

孝女伊麻顕彰法要

令和7年2月27日（木）

三寒**四**温とはよく言ったもので、今日は三寒四温の「**温**」の日となりました。

春の訪れを感じさせる温かさの中、孝女伊麻顕彰法要が営まれました。



磐城小学校の教育目標には、**建学の精神**が示されています。

地域の願いと歴史に培われた伝統、孝女伊麻の教え（「人を思いやり、感謝し、親孝行する」）のもと、社会に貢献する人の育成をめざす。

朝 8時30分、2年生を先頭に、1年生、3年生、4年生、6年生、5年生と、全校で孝女伊麻碑に向かいました。



こどもたちは、孝女伊麻碑の前で
生かされていることへの
感謝の心を持って
しっかりと手を合わせました。

その後、5年生の児童は、孝女伊麻碑近くの現徳寺の本堂にて、孝女伊麻の物語や今後のためになるお話を聴講しました。



お話の中で、人は人によって生かされている。

たくさんの方々のお陰で、今の自分があることを教えていただきました。

御所市教覚寺の板橋先生に
約30分間、熱心に講演して
いただきました。



こどもたちは、靴を揃え、服装を整え、

心を整えて、正座して

しっかりと聴講していました。



こどもたちよ

134年続く磐城小学校の伝統と孝女伊麻の教えを胸に

やさしさ と 思いやり のある人に成長してくださいね。

